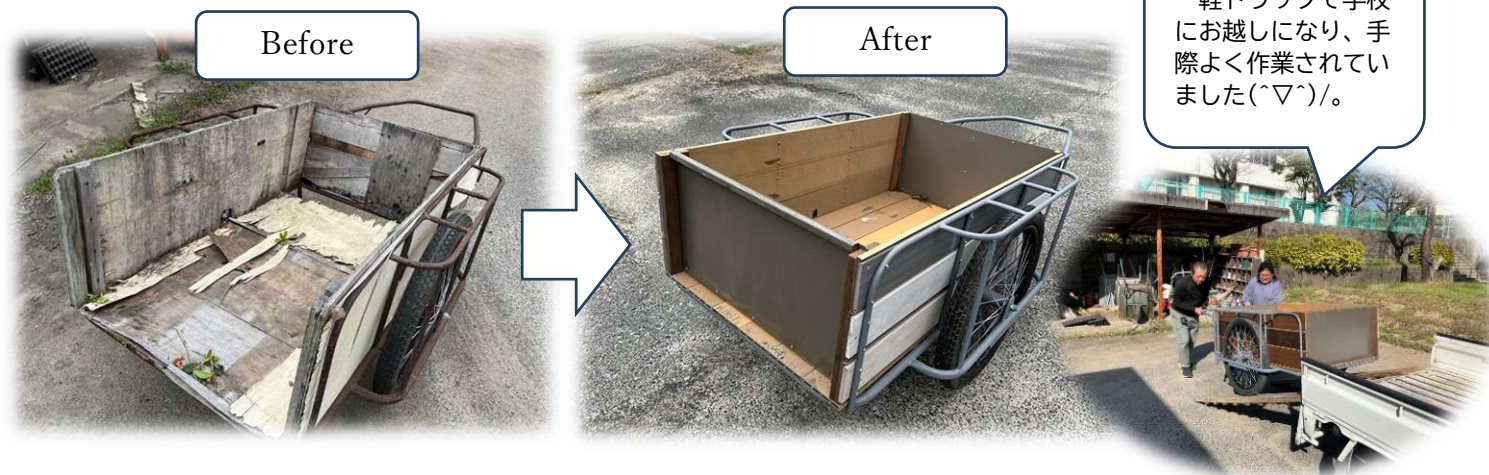


学校ではなかなかできないことを……

昨年度から、校地内の環境整備作業（とくに木の剪定や草刈り）については、市が委託した業者が、2か月に一度作業をしてくださっています。しかし、季節によっては、作業をしていただいたそばから草がどんどん伸びてくることもあります。また、業者であっても、学校全体を一度に作業することは不可能なため、どうしても手つかずの場所が生まれてきます。

そのようなときには、教職員が業務の合間を縫って作業をしたり、地域の方が善意で環境整備をしてくださったりしています。とくに行事の前には、来校される方に少しでも気持ちのよい環境で子どもたちの活動を見ていただきたいため、環境整備をするようにしています。

教職員が作業をするとき、とりわけ活躍するのがリヤカーです。剪定や草刈りで出た草木を一度に運ぶことができるリヤカーは、作業効率を高めるために欠かせない存在です。ところが、学校にあるリヤカーは古く、傷みも激しい状態で、せっかく荷台に草を載せても、ぽろぽろと落ちてしまうことがありました。そんな状況を地域の方にお話ししたところ、なんとあっという間に「わたしが修理するよ～」と言ってくださる方が現れました。お話ししてから数日後にはリヤカーを取りに来てくださり、さらに数日後には、見違えるように修理されたリヤカーが学校に戻ってきました。



学校の予算で、すぐにリヤカーを修理したり、新たに購入したりすることは簡単ではありません。そのような「学校ではなかなかできないこと」を、「私たちに任せて!」と支えてくださる地域の方の存在によって、学校はよりよい場所になっています。地域とともにある学校とは、こうした姿でもあると思います。上宇部地域の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。学校としてできることは、子どもたちが上宇部地域に愛着をもち、誇りに思えるような、充実した教育活動を展開していくことです。